



本庄東中入学式

小中学校入学者数

本庄東小	128人
本庄西小	85人
藤田小	27人
仁手小	10人
旭小	72人
北泉小	60人
本庄南小	76人
中央小	109人
児玉小	80人
金屋小	54人
秋平小	14人
本泉小	2人
共和小	34人
本庄東中	198人
本庄西中	158人
本庄南中	217人
児玉中	210人



児玉小入学式



祝入学

4月9日、市内の小中学校で入学式が行われました。春の暖かい日差しがふりそそぎ、これからの学校生活を歓迎しているようでした。桜の花も各地で例年より早い開花が伝えられました。入学式に彩りを添えました。「こだま千本桜」・「城山公園」・「若泉公園」などで、お花見を楽しむ多くの市民のみなさんにぎわいました。

まちがどスナツプ



こだま千本桜まつり



城山公園



城山稲荷神社



若泉公園



こだま千本桜



1年越しの約束

4月10日、児玉町飯倉にある「こんぴらさま」のお祭りに出かけました。実は地元の皆さんとの1年越しの約束なのです。

昨年の4月9日、飯倉では大規模な山火事が発生し、消防団をはじめ多くの方にご尽力いただきました。その日の夕方、災害対策本部で地元の奥さん方が握ってくれた炊き出しのおにぎりをいただきながら対策会議をしていた時、「こんぴらさまは大丈夫だろうか」と、当時の荒木自治会長が山の方を見ながら心配しているのです。聞けば翌10日は火が燃えている山の上の「琴平（琴比羅）神社」のお祭りだとか。「こんぴらさま」といえば四国讃岐の有名な神社であり、「またどうして児玉の地に？」と思いましたが、その時は理由を聞きませんでした。幸い、山火事は神社のある山頂まで延焼せず鎮火しましたが、やはりお祭りは開催できなくなりました。私は自治会長をはじめ地元の方々を励ますつもりで、「来年の4月10日、お祭りに来ます」とお約束したのです。

さて、本年4月10日、ふもとで四輪駆動車に乗り換え、眼下に雄大な景色を見ながら一路山道を神社へ。山の頂上に着くと、小さなお社が西（讃岐の方角）を向いて建っていました。お参りを済ませ、なごやかな直会となり、新旧自治会長さん、役員さん、氏子総代・年番の皆さん方に大変歓迎していただきました。そもそもこちらのこんぴらさまは、江戸時代に当地出身の蘭学医が京からの帰り、讃岐から御分身をいただいてきたもので、最初子孫の小峯さんのお宅に祀り、後に山の上に移した、というお話を小峯さんご本人から聞くことができました。小さなお祭りでしたが、長い間地元の人々によって大切に守られている伝統の一端を感じることができました。

本庄市には各地域に長い歴史と由緒を持った伝統行事が息づいています。それぞれの行事が末永く、また、盛んになるように願ってやみません。 本庄市長 吉田信解

野鳥の詩

バン <全長30～38cm>

- ・ 鳴き声 「クルルッ、またはキュルルッ」
- ・ 撮影地 武道館南の元小山川

親鳥は全身が黒色で上面は褐色、額から嘴の基部は赤、嘴の先端は黄色。雛は全身が黒で嘴全体が赤、頭部に皮膚の露出した部分があり、赤と青の彩りが見られます。

クイナ類にしては臆病心が薄く、開けた場所で観察、撮影ができるカメラマンやバードウォッチャーには「好感度大」の野鳥です。

文・写真 町田好一郎



家族経営協定ってなに？

3月27日、セルデイにおいて、市内8組の農家の家族のみなさんが「家族経営協定書調印式」にのぞみました。

家族経営協定とは、意欲とやりがいを持って農業に取り組んでいけるよう、将来の経営目標、役割分担、労働条件給与などについて取り決めるものです。締結には家族全員でよく話し合い、取り決めた内容を文書にします。

当日は、吉田市長、八木農業委員会、原本庄農林振興センター所長が立ち会い、署名・調印を行いました。



消防長官褒状を受章

昨年4月、児玉町飯倉地内で発生した林野火災における消火活動に対して、本庄市消防団が消防長官褒状を受章し、市長に報告しました。



消火活動ありがとうございました

2月21日に発生した火災で消火活動を行った児玉町金屋にお住まいの渡部久夫さんに、児玉郡市広域消防本部から消防協力者の感謝状が手渡されました。



渡部さんご夫婦と児玉分署長